

同窓会便り

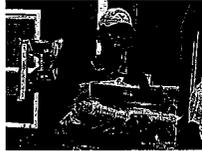


令和5年度 同窓会総会

【大会結果】(上位3名まで)

順位	氏名	スコア
優勝	菅原 順一	101
2位	尾形 徳雄	103
3位	島山正一郎	106
	川村 正信	

※同スコアの場合は、年齢が上の方から上位とさせていただきます。



第3回親睦パークゴルフ大会

第3回親睦パークゴルフ大会を11月3日に気仙沼パークゴルフ場でを行いました。今年度は36名の同窓生の皆様にお集まりいただき、秋晴れの元で同窓生同士の親睦を深めることができました。

7月22日に気仙沼市内のゲストハウス気仙沼アバンにて、4年ぶりに飲食を伴った同窓会総会および懇親会を実施いたしました。今回の総会では、役員改選も行われ、8年間会長職を務めていた村上進会長から守屋守昭新会長を始めとした新体制になりました。また、当日は来賓10名、同窓会役員13名、一般会員および同窓会事務局48名、計71名の参加をいただき、当日の運営は、担当部活の「柔道部OB会」の皆様にご協力いただき、総会および懇親会も無事に終了することができました。

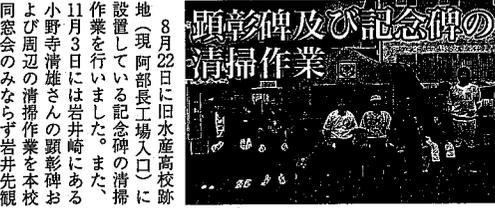


お世話いただいた「向洋柔道会(柔道部OB会)」の方々



顕彰碑及び記念碑の清掃作業

8月22日に旧水産高校跡地(現阿部長工場入口)に設置している記念碑の清掃作業を行いました。また、11月3日には岩井崎にある小野寺清雄さんの顕彰碑および周辺の清掃作業を本校同窓会のみならず岩井先願光協会の皆様もお越し頂き実施することができました。今後も同窓会事業として、本校に関係する記念碑等の維持管理を図ってまいります。



令和4年度 事業報告

年月日	内容	所属
4月2日	①役員選考委員会	気仙沼向洋高校
4月8日	入学式(不参加)	
4月26日	第1回役員会	気仙沼向洋高校
5月10日	②役員選考委員会	気仙沼向洋高校
5月24日	③役員選考委員会	気仙沼向洋高校
6月11日	拡大三役会	気仙沼向洋高校
6月21日	第2回役員会兼総会	気仙沼向洋高校
6月	仙台同窓会総会 中止	
7月	関東同窓会総会 中止	
7月16日	気仙沼向洋高校同窓会総会 中止	(総会資料送付)
8月	さんり同窓会総会 中止	
10月11日	第3回役員会	気仙沼向洋高校
11月3日	第1回親睦パークゴルフ大会	パークゴルフ場
12月10日	第4回役員会兼忘年会	伊勢家
令和5年		
1月14日	第5回役員会	気仙沼向洋高校
1月15日	歴代校舎のパネル写真の寄贈	気仙沼向洋高校
3月1日	卒業式 参加中止	
	「陸水」第22号発行	700部
3月25日	宮城丸竣工式	気仙沼魚市場

令和4年度 同窓会 収支決算書

1 収入の部		自: 令和4年4月1日 至: 令和5年3月31日		単位: 円	
科目	予算額	決算額	増減	備考	
繰越金	504,076	504,076	0	前年度繰り越し	
会費	350,400	355,200	4,800	1,800名(2024年度)の会費納入	
総会費	0	34,000	34,000	令和5年度総会開催に伴う費用	
パークゴルフ場	30,000	9,965	△20,035	令和5年度大会開催に伴う費用	
寄附金	0	50,000	50,000	伊勢家様より寄附金	
同窓会入会金	88,000	87,000	△1,000	1,000円×87名	
雑収入	10	7	△3	料子	
合計	972,486	1,040,248	67,762		

2 支出の部		単位: 円	
科目	予算額	決算額	増減
会費	50,000	3,412	△46,588
事業費	400,000	94,696	△305,304
旅費	100,000	0	△100,000
旅費	5,000	5,110	110
旅費	100,000	550	△99,450
広告費	40,000	39,270	△730
通信費	40,000	19,861	△20,139
事務費	100,000	0	△100,000
予備費	137,486	0	△137,486
合計	972,486	162,899	△809,587

令和4年度 同窓会特別会計 収支決算書

1 収入の部		単位: 円	
科目	予算額	決算額	増減
繰越金	1,332,263	1,332,263	0
雑収入	11	12	1
合計	1,332,274	1,332,275	1

2 支出の部		単位: 円	
科目	予算額	決算額	増減
事業費	0	0	0
予備費	1,332,274	0	△1,332,274
合計	1,332,274	0	△1,332,274

気仙沼向洋高等学校同窓会 会計監査報告書

気仙沼向洋高等学校同窓会 会長 村上 進 殿
令和4年度気仙沼向洋高等学校同窓会一般会計及び特別会計の諸帳簿、貯金通帳を精査したところ、適正かつ、正確に処理されていることを認めましたのでここに報告申し上げます。
令和5年4月10日
気仙沼向洋高等学校同窓会 監事 小松 秀 郎 後 俊 義 高 川 村

ご挨拶



校長 白幡 充

今年度4月に着任いたしました白幡充と申します。同窓生の皆様におかれましては日頃より本校の教育活動にご感謝申し上げます。7月22日に行われた本部同窓会総会において新会長に守屋守昭会長が就任されました。前会長の村上進様をはじめ旧役員の皆様には、これまで物心両面にわたるご支援賜りましたことと感謝申し上げます。これからも、新役員の皆様には、これからのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

私が高校生1年生の頃に気仙沼水産高校に新しい柔道場が完成し、他校の部員はありましたが、その落成記念式典に参加したことは今でも記憶に残っています。教員となつてからは柔道部顧問として気仙沼向洋高校を会場に行われていた春、夏の合宿を生徒と一緒に参加させていただきました。そんな思い出深い気仙沼向洋高校で勤務できますことは大きな喜びであります。

5月には新型コロナウイルス感染症の分類が5類となり、体育祭や洋祭、課題研究発表会などの学校行事も制限を緩和し実施することができました。向洋祭の一般公開には多くのご家族や地域の皆様にご来校いただき、恒例のサンマ缶詰販売会は長蛇の列となりました。普段の授業はもとより、この

ような活気ある行事を継続することで生徒たちは日々成長しています。その成果として、今年度も各種大会・発表会等で多くの活躍がみられました。ヨット部、相撲部の東北大会ファイナリスト部門奨励賞、全国高校生ロボット競技大会出場、東北地区水産・海洋高校意見・体障発表会優秀賞、全国水産・海洋高校食品技能コンテスト第3位と奨励賞、全国水産・海洋高校生徒研究発表大会が最優秀賞に輝き併せて文部科学大臣賞と水産庁長官賞を受賞しました。その他、令和4年3月に竣工した宮城丸での乗船実習、大学や専門学校と連携した専門的な実習、防災イベントにおける県内外の高校生との交流、市内小学校における出前授業、本吉共同調理場と連携した学校給食の提供など、多くの皆様のご協力を得ながら充実した教育活動を実施することができました。このよな本校における学びの成果を積極的に発信し、気仙沼向洋高校の素晴らしさを全国に伝えていきたいと思っております。

同窓会の限りなき躍進



同窓会顧問 村上 進

昨年の同窓会総会において、平成28年から会長に就任して以来8年間、会員各位のご支援とご協力をいただき大変なご迷惑をおかけしてまいりました。本年明けの元旦に発生した能登半島地震により被災された皆様に心からの御悔みとお見舞いを申し上げます。復旧・復興に向けて共に頑張つてまいりましょう。さて、同窓会活動を振り返ると、時二つの取り組みを思い返します。一つは、あの東日本大震災が発生した、平成23年の同窓会総会の開催についてであります。当園域の高校同窓会総会は軒並み見送りの対応となった折、本校同窓会は厳しい環境下でありながらも予定通りの開催を計画し、地盤沈下した朝見町の市漁協会議室において総会を開催しました。

総会の名に於いて、早期被災校の復旧を願う決議文を全会一致で採択し、関係方面に働きかけていくことを確認しました。結果として気仙沼市当局や園域選出の県議の力添えをいただき、宮城県知事や県教育委員会教育長に、早期の校舎復旧を力強く働きかけてまいりました。

願いが叶い平成30年8月に現地在に移転新築落成となりました。このことは階上地区民の皆様や、先祖伝来の大切な土地の提供や、ご協力も後押しして頂きました。方々の結果でもあります。心から感謝申し上げます。

基本的には原形復旧であります。大震災からの飛躍的な復興と、園内外の向洋高校復旧に寄せられた物心両面にわたる心温まるご支援があったことあり、震災前以上の施設整備があったこと、特筆しなければなりません。震災から13年の月日が流れていまま。生徒諸君の勉学に励む姿の挑戦やその情報、気仙沼の将来の産業や、地域づくり、防災の在り

各地区同窓会

関東同窓会	高橋 義勝	昭24 F科
北関東同窓会	山本 昭信	昭22 F科
中部同窓会	志田 惠洋	昭43 F科
近畿同窓会	野村 道雄	昭32 M科

同窓会本部事務局

事務局長	廣木 裕	平16 J科
事務局(会計)	熊谷 猛	平21 J科
事務局	前田 猛	平12 J科
	吉田 愛美	平17 J科
	島山 拓也	平22 K科
	渡邊 百佳	平29 S科
	尾形 魁	令1 J科
	長田 梨菜	令3 S科

国連が掲げているSDGSに貢献している「持続可能な17の開発目標」を意識的に達成することと思っております。

被災した学び舎、渡路の上旧校舎は、気仙沼市の震災遺構・伝承館として、津波被害の伝承や防災教育の拠点として生まれ変わり、整備された「パークゴルフ場」が整頓されて、老若男女が集い交流し、後世に伝えるための生きた防災学習の場や交流の場として、その存在価値を高めています。

結び、同窓会員皆様方の並々なご支援に心から感謝申し上げます。